令和3年度
(令和3年4月入学)

九州産業大学大学院 学生募集要項

(一般・社会人・外国人留学生入学試験)

博士前期課程・博士後期課程

国際文化研究科

経済・ビジネス研究科

情報科学研究科

工学研究科

芸術研究科

(秋期 推薦入学試験)

博士前期課程

情報科学研究科

九州産業大学

建学の理想

九州産業大学大学院（以下「大学院」という。）は、九州産業大学（以下「本学」という。）の目的使命に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的とし、建学の理想「産学一如」の実現を目指して教育・研究体制を整備している。産学一如とは、すなわち、「産」（産業界）と「学」（大学）とを連動させ、「学」を「産」に活かす教育（理論と実践の統合）を志向することである。

大学院の人材養成及び教育研究上の目的

大学院は、本学の建学の理想のもと、広く産業界の期待に応えられる“実践力”“熱意”“豊かな人間性”を持った人材を輩出すべく、深い教養に裏打ちされたグローバル化に対応できる心身共に健全な人間教育の実践に努めている。

各研究科の人材養成その他教育研究上の目的

【国際文化研究科】

現代のグローバル化社会において文化・教育研究、臨床心理学の各分野で活躍できる人材の育成を目指している。国際文化研究分野では、日本・アジア文化、欧米文化、教育に関する深い知識を身につけた専門的職業人や研究者、教員の育成を図っている。臨床心理学研究分野では、現代社会のニーズに応じた幅広い領域での心理的ケアを行える実践家と研究者の養成に力を注いでいる。

[入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）]

〈博士前期課程〉

世界や日本の文化、教育および人間心理に関心を持ち、これらを専門的に学ぶ意欲のある人物を受け入れている。自ら研究課題を発見し設定する能力や、他者を説得できる論理的な表現能力も求めている。入学者の選抜では、専門分野の基礎知識や外国語能力や考察力等によって審査する。他大学からの入学希望者や社会人や留学生等にも、積極的に門戸を開いている。

〈博士後期課程〉

研究対象に対して旺盛な探求心を持ち、研究遂行の意志が強い人物を受け入れている。入学者の選抜では、論文作成能力や考察力や専門分野の知識等によって審査を行う。他大学からの入学希望者や社会人や留学生等にも、積極的に門戸を開いている。

【経済・ビジネス研究科】

経済・ビジネス研究科は、経済およびビジネス社会におけるグローバル化、リージョナル化、情報化およびサービス化の変容と進展に対応していくために、経済・コマース・マネジメントそれぞれの分野における喫緊の課題を解決する能力の育成等を目標とする。また、本研究科は昼夜開講制の特色を活かし、本学の建学の理想である、「産学一如」の実現を目指しながら、福岡・九州の地域社会および産業界のニーズに対応できる実践的教育を通じた人材育成を教育理念および目標とする。

[入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）]

〈博士前期課程〉

本研究科では、国内外の大学および本学出身の学生を受け入れるだけでなく、リカレント教育の大学院研究科として、生涯学習やキャリアアップを目指す社会人や、資格取得を目指す学生など、広く多様な学生を受け入れていく。

〈博士後期課程〉

博士後期課程では一専攻で、「研究者養成コース」と「社会人特別コース」を設けている。研究者養成コースは博士前期課程から5年間の一貫教育の指導を受ける学生の受け入れ、社会人特別コースは、企業等の在籍者、研究機関等の研究員および大学等の教員として教務経験と研究実績がある社会人の受け入れを行う。

【情報科学研究科】

「社会と人間のためのIT(情報技術)」を教育研究の理念とし、高度情報社会の諸問題に対応出来る高度専門職業人および研究開発者の育成を目標としている。特に、我が国が目指す知識基盤社会の展開を支える情報システムを構築できる技術と展望を持った人材や人間の本質である知的処理能力をコンピュータで実現あるいは支援する技術を開発できる人材を育成する。この目標達成に向け、情報科学・技術を基礎から応用まで深く修得し、高度情報社会の発展を担い得る高度の研究開発能力や問題解決能力を養う教育課程を編成している。

[入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）]

〈博士前期課程〉

情報科学・情報技術に関する基礎知識及び英語や日本語によるコミュニケーション力を有し、高度情報社会を支える強い意欲のある者を受け入れる。このため、情報分野の学部教育を受けてきた従来型の進学者のみならず、情報分野以外の学部教育を受けてきた進学者や企業技術者、中等初等教育担当者、高等教育機関の教職員も対象とする。

〈博士後期課程〉

情報科学・情報技術の基礎から応用までの広範な知識と能力を有し、研究対象に対する旺盛な探求心と研究遂行に強い意志を持つ者を受け入れる。このため、博士前期課程からの進学者のみならず企業等の研究開発機関で現在活躍している中堅研究開発者も対象とする。

【工学研究科】

建学の理想である「産学一如」の実現を目指し、地域社会および産業界の要請に対応するため、物事を総合的な観点からとらえ、人・社会・地球に受容されかつその発展に貢献できる産業技術を創出し展開できる人材の養成を目指している。

[入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）]

〈博士前期課程〉

ものづくりの基本となる理数系科目の学力を有し、身につけた学識を社会や産業界において発揮することについて強い意欲を持ち、目的意識を持って時代を切り開く意志を持つ者を受け入れる。

〈博士後期課程〉

先駆的かつ高度で専門的な工学の研究者を目指すにふさわしい基礎的な研究能力を持ち、研究対象に対する旺盛な探求心と研究遂行に強い意志を有する者、社会および産業界における実践的な活動の経験に立ち、真理を探求する強い意志を有する者を受け入れる。

【芸術研究科】

芸術研究科は、21世紀の知識基盤社会を多様に高度で知的な素養のある人材など、多様化する社会に応えられる有為な人材を育成することを目標にしている。前期課程は、学部における芸術諸分野の専門的な教育との繋がりに配慮しつつ、専門性と学際性の両立のできる美術研究者、アーティスト、デザイナー、クリエイター、写真家、映像作家の人材育成を目標に高いレベルの教育を行う。後期課程は、現代の芸術文化を担う高次元の研究者とアーティスト、ジェネラリスト、プロデューサー、教育研究者の養成を目標にしている。

[入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）]

〈博士前期課程〉

芸術研究科は、21世紀の多様化する社会の要求に芸術の分野で応えることのできる人材を養成することを目標に、本学および他大学の芸術系の卒業生、民間企業・研究機関の在籍者、外国人留学生、一般社会人など多様な人材を受け入れる。

〈博士後期課程〉

現代の芸術文化を担う高次元の研究者とアーティストの養成を目標に、本学芸術研究科および他大学大学院修了生、民間企業・研究機関の在籍者、外国人留学生、一般社会人など多様な人材を受け入れる。

博士前期課程

1. 募集研究科及び入学定員・入試日程

研究科	専攻	入学定員	秋期入学試験			春期入学試験		
			願書受付期間	試験日	合格発表	願書受付期間	試験日	合格発表
国際文化研究科	国際文化専攻	15名	令和2年 9月8日(火) ~ 9月15日(火)	9月26日(土)	10月16日(金)	令和3年 1月14日(木) ~ 1月26日(火)	2月13日(土)	3月5日(金)
経済・ビジネス研究科	経済学専攻	7名						
	現代ビジネス専攻	20名						
情報科学研究科	情報科学専攻	20名						
工学研究科	産業技術デザイン専攻	35名						
芸術研究科	造形表現専攻	14名						
国際文化研究科	国際文化専攻 臨床心理学研究分野	※	9月25日(金) 26日(土)			2月12日(金) 13日(土)		

※入学定員は国際文化専攻に含む

研究科	専攻	募集定員	秋期推薦入学試験		
			願書受付期間	試験日	合格発表
情報科学研究科	情報科学専攻	若干名	令和2年9月8日(火)~9月15日(火)	9月26日(土)	10月16日(金)

2. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者。
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和3年3月授与見込みの者。
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者。
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和3年3月修了見込みの者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和3年3月までに22歳に達する者。
(注) 上記の(8)により出願を希望する者については、入学資格審査を行う。64ページの「出願資格の認定」を参照すること。

一般入試

上記の(1)~(8)のいずれかに該当する者

社会人入試

[国際文化研究科、経済・ビジネス研究科]

上記の(1)~(8)のいずれかに該当する者で、令和3年3月までに実務経験を2年以上有する者、又は大学卒業後、社会人となり2年以上経過する者

[情報科学研究科]

上記の(1)~(8)のいずれかに該当する者で、令和3年3月までに実務経験を2年以上有する者

[工学研究科]

上記の(1)~(8)のいずれかに該当する者で、令和3年3月までに社会人として1年以上の経験を有する者

[芸術研究科]

上記の(1)~(8)のいずれかに該当する者で、令和3年3月までに実務経験を1年以上有する者、又は大学卒業後、社会人となり1年以上経過する者

外国人留学生入試

上記の(1)~(8)のいずれかに該当する者で、入学後、法に定める「留学」の在留資格を取得又はこれに変更できる者

(注) 日本国内の大学を卒業(卒業見込みを含む)した外国人留学生の選抜方法については、一般の入学試験と同様に実施する。なお、出願書類については、外国人留学生入試の出願に必要な書類を提出すること。

秋期推薦入試

[情報科学研究科]

令和3年3月卒業見込みの者で、在籍学部の専任教員が成績優秀と認め、推薦する者。(学内外不問)

3. 出願手続

(1) 出願書類

提出書類	該当研究科等 (入試区分)	注意事項
① 入学志願書・受験票 履歴書(裏) [本大学院所定用紙 様式1]	全研究科	<p>所定用紙に必要な事項を記入し、写真を貼付したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・※印欄は、記入しないこと。 ・○の箇所は、いずれかを囲んでおくこと。 ・本学卒業または修了(見込)者は、学籍番号を記入すること。 ・受験科目欄は、筆記試験の選択科目について、選択し記入すること。出願後の科目変更は認めない。 ・研究指導教員及び志望演習(研究)科目は、「各研究科の概要」の授業科目及び教員組織を参照し、担当者氏名の前に○印が付されている教員名と、その教員が担当する演習(研究)科目を記入すること。 ・研究指導を志望(第一志望)する担当教員との研究計画等についての事前確認を必ず行い、○を付けること。 ・経済・ビジネス研究科に出願する場合は、「各研究科の概要」の履修方法を参照し、希望するコースを志願研究科欄に記入すること。 ・外国人志願者が履歴を記載する際は、<u>小学校入学から現在</u>に至るまで空白期間がないように記入すること。 ・一般及び社会人志願者が履歴を記載する際は、<u>高等学校卒業相当から現在</u>に至るまで、空白期間がないように記入すること。なお、社会人志願者は<u>職歴</u>も詳しく記入すること。 ・学歴を記載する際は、学部、学科名まで記入すること。
② 志望理由・研究希望等調査書 [本大学院所定用紙 様式2]	全研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・※印欄は、記入しないこと。
③ 研究計画書 [本大学院所定用紙 様式3]	全研究科 (社会人のみ) 国際文化研究科 臨床心理学研究分野 情報科学研究科 芸術研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・※印欄は、記入しないこと。 ・研究計画の概要(研究目的・研究方法について)を<u>1,000字以内</u>(英語の場合は300words以内)で、記入すること。 ・書類を記入する際は、本学HPから様式をダウンロードすること。 ・本学情報科学科出身者で情報科学研究科を志願する者は、不要とする。
④ 卒業論文の要旨又は卒業設計	国際文化 研究科 (一般・外国人のみ) 芸術研究科 (論文提出者) 工学研究科 (Ⅱ類のみ)	<p>A 4 2枚程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部の卒業論文を作成中又は作成した者は、原則として提出すること。 ・芸術研究科志願者は、綴じ込みの「提出論文証明書」を添付すること。 <p>A 4 2枚程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春期入学試験の一般入試出願者で、受験区分のⅡ類を選択する者は、卒業論文要旨又は、卒業設計(コピー可)を願書と共に提出すること。
⑤ 卒業(見込)証明書	全研究科	<p>出身大学長等が発行したもの。(出願前3ヵ月以内のもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業証明書等及び成績証明書の発行を行わない外国の大学を卒業した者は、原本を出願時に提示すること。 ・日本語・英語以外で記載された証明書等は、日本語の訳文を添えて提出すること。 ・現在の氏名と証明書記載の氏名が異なる場合は、新旧氏名記載の改氏名を証明する書類(戸籍抄本等)を提出すること。
⑥ 成績証明書		
⑦ 学会誌・紀要等への掲載論文 ※任意提出	国際文化 研究科 (社会人のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・抜き刷り又はコピーを提出すること。
⑧ 推薦書		
※任意提出	全研究科 (社会人のみ)	<p>官公庁及び企業等の所属長が作成したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式随意。
[本大学院所定用紙 様式10]	情報科学研究科 (秋期 推薦のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦者(教員)捺印の上、提出すること。
⑨ 日本語能力証明書 [本大学院所定用紙 様式4]	全研究科 (外国人のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政府の在外公館員、交流協会及び日本語講師等適当な人に記入を依頼すること。 ・本学卒業(見込)者は、不要とする。

提出書類	該当研究科等 (入試区分)	注意事項
⑩ 住民票又は公的機関が発行した国籍を証明する書類	全研究科 (<u>外国人のみ</u>)	<ul style="list-style-type: none"> 日本国内からの出願者は、区役所（市町村役場）から在留資格及び在留期間が記載されている住民票（<u>出願前3ヵ月以内のもの</u>）を提出すること。 日本国外からの出願者は、公的機関が発行した国籍を証明する書類を提出すること。ただし、パスポートを所持している者は、氏名の記載及び写真の貼ってあるページの写し（コピー）でもよい。
⑪ 健康診断書 [本大学院所定用紙 様式8]	全研究科	<p><u>出願前3ヵ月以内</u>に受診し作成されたもの。診断書作成の医師については指定しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願時の年度内に、学校・職場等で健康診断を受診した者については、その証明書（健康診断結果が明記され、学校長または所属長の証明印があるもの）で代えることができる。
⑫ 通知用ラベル [本大学院所定用紙]	全研究科	<p>確実に届く住所を記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 受験票・合格通知書等を送付する際に使用する。提出後に住所変更がある場合は、届け出ること。
⑬ 提出論文証明書 [本大学院所定用紙]		論文提出者は、「提出論文証明書」と論文を願書と共に提出すること。
⑭ 提出作品証明書 提出作品添付用紙 提出作品搬出計画記入用紙 [本大学院所定用紙]	<u>芸術</u> 研究科	作品提出者は、試験日に、作品と共に提出すること。

(2) 入学検定料

- ① 本学卒業（見込）者（留学生を含む）の出願者は、**16,000円**とする。
- ② 他大学卒業（見込）者の出願者は、**32,000円**とする。
- ③ 外国人留学生の出願者は、**30,000円**とする。

本大学院所定の郵便振替払込用紙により、最寄りの郵便局で払い込みを行い、「郵便振替払込受付証明書」を入学志願書の裏面に貼付すること。

(3) 出願上の注意

- ① 志願者は、出願前に、研究計画等について、研究指導を志望する担当教員と必ず話し合うこと。
- ② 出願書類は、本大学院所定の出願用封筒に出願書類を取り揃えて出願すること。
- ③ 出願書類は、特に指定がない限り、本人が日本語でペン又はボールペンをうい正確に記入すること。
- ④ 出願書類は、本学に持参することが望ましいが、都合により郵送する場合は、簡易書留郵便とし、締切日までに必着のこと。
- ⑤ 出願書類は、ひとつでも不足又は不備がある場合は受け付けない。
- ⑥ 出願書類提出後は、志望研究科・専攻・コース・研究指導教員等の変更は一切認めない。
- ⑦ 証明書等の写し（コピー）は、受け付けない。
- ⑧ 日本語・英語以外で記載された証明書等は、日本語の訳文を添えて提出すること。
- ⑨ 一度払い込まれた入学検定料及び提出した書類の返還請求には応じない。
- ⑩ 不明な点がある場合は、出願前に、本学教務部大学院事務室に問い合わせること。

(4) 願書受付時間・場所

- ① 受付時間
9時から16時まで（平日の11時20分から12時20分及び土日、祝祭日は除く）
- ② 受付場所及び問い合わせ先
九州産業大学教務部大学院事務室（九州産業大学内1号館1階）
電話（092）673-5596

(5) 受験上の注意

試験開始後、20分以上遅刻した者は受験することができない。

(6) 受験票の送付

受験票は、願書受付期間後、本人宛に送付する。

4. 選 抜 方 法

(1) 試験場

九州産業大学（福岡市東区松香台二丁目3番1号）

(2) 試験科目・試験時間

一 般 入 試

○ 入学者の選抜は、筆記試験・口述試験等の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

● 国際文化研究科

試験科目		筆 記 試 験		口 述 試 験
		外国語・漢文	専 門 科 目	
専 攻	専攻分野	時 間		
		9:00～10:30	11:00～12:30	13:30～
国際文化専攻	国際文化研究	一般入試	外国人留学生入試	主に希望する専攻分野について試問
		英語 フランス語 中国語 漢文 のうちから 1科目選択	英語 フランス語 中国語 漢文 日本語 のうちから 1科目選択	
(注) [1] 外国語・漢文については、辞書（一冊）の使用を認める。（電子的辞書は不可） [2] 外国人留学生の外国語は、母語では受験できない。 [3] 志願者は、出願の際に選択する外国語・漢文及び専門科目（希望する専攻分野より1科目選択）を志願書に記入すること。なお選択した科目は試験会場において変更できない。				

日程		第 一 日 目		第 二 日 目
		9:00～10:30	11:00～12:30	（第一日目筆記試験） 合格者対象
専 攻	専攻分野	時 間		
		9:00～10:30	11:00～12:30	9:00～
国際文化専攻	臨床心理学研究	英 語	臨床心理学	口 述 試 験 （研究計画書に基づいて） 試問
(注) [1] 外国語については、辞書（一冊）の使用を認める。（電子的辞書は不可） [2] 第一日目筆記試験の結果を筆記試験当日17:00公用掲示板及び本学ホームページで発表する。 [3] 電話での問い合わせは間違いの原因となるので一切応じない。				

● 経済・ビジネス研究科

(専修コース)

専攻		専攻分野	時 間	
			10:00～11:30	12:30～
経済学専攻				
現代ビジネス専攻	ビジネス・会計	小 論 文		口 述 試 験
	マネジメント			
(注) [1] 日本国内の大学を卒業（卒業見込みを含む）した外国人留学生についても、この専修コースの入試で選抜する。 [2] 専修コースにおいて、一般入試及び外国人留学生入試試験で入学した学生が博士後期課程の入学試験を受験する場合は英語等を課す。				

(研究者養成コース)

専攻		専攻分野	時 間		筆 記 試 験 終 了 後
			10:00～11:30	12:30～14:00	
経済学専攻					
現代ビジネス専攻	ビジネス・会計	専 門 科 目 （志望演習科目）		英 語 （辞書一冊持ち込み可） ※いずれの辞書でも可。 ただし電子的辞書を除く。	口 述 試 験
	マネジメント				

● 情報科学研究科

時間 専攻	10 : 00～11 : 00	11 : 10～12 : 10	13 : 00～
情報科学専攻	情報科学基礎 「微分積分学」、「線形代数学」、「離散数学」、 「データ構造とアルゴリズム」の4科目から 1科目を申請し受験。	英 語	口 述 試 験
(注) [1] 英語は、辞書（一冊）の持ち込み可。ただし、電子的辞書の持ち込みは不可。 [2] 出願時に申請した科目については、試験会場で変更不可。			

● 工学研究科

各分野共に、Ⅰ類又は、Ⅱ類いずれかを選択し受験すること。

Ⅰ類：（秋期）（春期）

時間 分野	10 : 00～12 : 00	13 : 00～14 : 00	筆記試験終了後
機 械 シ ス テ ム 分 野	材料力学、熱力学、流体力学、機械工作、機械設計、機械力学、 制御工学、工業数学 < 8科目から3科目を申請し受験。電卓持ち込み可 >	英 語	口 述 試 験
バイオリボティクス分野	生体材料力学、生体熱工学、生体流体工学、ロボット工作、生体工学、 制御工学、ロボティクス、計算機システム、工業数学 < 9科目から3科目を申請し受験。電卓持ち込み可 >		
電 気 情 報 技 術 分 野	・電気工学一般 < 電気数学、電磁気学、電気回路から6題出題。 > < 3題選択解答。電卓持ち込み可 > ・電気工学専門 < 電子回路、電子物性、制御工学、情報工学の > < 4科目から1科目を申請し受験。電卓持ち込み可 >		
物 質 生 命 化 学 分 野	無機化学、環境化学、物理化学、有機化学、分子生物学、 生化学、微生物工学、ケミカルバイオロジー、植物学、食品衛生学、 食品栄養学、食品分析学 < 12科目から3科目を申請し受験。電卓持ち込み可 >		
土 木 デ ザ イン 分 野	構造力学、コンクリート構造工学、地盤工学、材料・施工学、水工学、 景観デザイン、応用生態学、海岸港湾工学 < 8科目から3科目を申請し受験。電卓持ち込み可 >		
建 築 デ ザ イン 分 野	建築構造工学（構造力学、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、材料・ 施工、防災工学）、建築計画学（計画、歴史、意匠）、建築環境工学 （環境工学、設備） < 3科目から研究内容に対応する1科目を申請し受験。電卓持ち込み可 > （出題範囲：括弧内に示す）		
(注) [1] 英語は、辞書（一冊）の持ち込み可。但し、電子的辞書の持ち込みは不可。 [2] 出願時に申請した科目については、試験会場で変更できない。			

Ⅱ類：（春期）

Ⅱ類受験者は、卒業論文要旨（A4 2枚程度）又は、卒業設計（コピー可）を願書と共に提出すること。

時間 分野	10 : 00～12 : 00	13 : 00～14 : 00	筆記試験終了後
機 械 シ ス テ ム 分 野	・口述試験 （卒業研究成果等に関連するプレゼンテーション）	英 語	口 述 試 験
バイオリボティクス分野			
電 気 情 報 技 術 分 野			
物 質 生 命 化 学 分 野			
土 木 デ ザ イン 分 野			
建 築 デ ザ イン 分 野			
(注) 英語は、辞書（一冊）の持ち込み可。但し、電子的辞書の持ち込みは不可。			

● 芸術研究科

専攻	領域	時間		
		9:00 ~ 9:15	9:30 ~ 11:00	12:00 ~
造形表現専攻	芸術表現領域	作品提出 ※論文を提出する場合は、 出願時に提出。	小論文 ・英文による設問、日本語による解答 ・各領域に関する内容（選択式）	口述試験
	デザイン領域			
	写真・映像領域			

(注)[1] 作品提出（論文）についての留意事項

- ① 作品を提出する者は、作品に、綴じ込みの「提出作品添付用紙」に必要事項を記入し貼付の上、「提出作品証明書」「提出作品搬出計画記入用紙」とともに提出しなければならない。
- ② 論文を提出する者は、「提出論文証明書」を添付の上、出願時に提出すること。
- ③ 「提出作品（論文）証明書」には、本人の作品（論文）であることを証明できる出身大学の指導教員又はそれに準ずる者に署名・捺印を受けること。
- ④ 作品及び論文は、提出日より2年以内に完成したもので、次に該当するものを提出すること。

領域等	提出作品
【芸術表現総合研究（絵画創作）出願者】	・絵画50～100号 2点 ・デッサン 5点
【芸術表現総合研究（造形・彫刻）出願者】	・彫刻作品（塑像または実材）1点 ・上記以外の作品写真 2点×3枚 （1点につき3方向から写したキャビネ版 3枚） ・デッサン 5点
【デザイン総合研究出願者】	・作品 3点
【写真・映像総合研究出願者】	以下に定めるいずれかを提出 ・写真作品又は映像作品
論文提出者	・卒業論文又は2万字以上の論文及び卒業論文の要旨 （日本語及び英語に限る）

- ⑤ 作品は、必ず本人立ち会いの上、各自の責任において搬入・搬出を行うこと。
- ⑥ 提出された作品は、試験終了後に返却する。

[2] 英語及び英文による設問・日本語による解答は、辞書（和英・英和・韓英・英韓・中英・英中等）持ち込み可。但し、電子的辞書の持ち込み不可。

社会人入試

○経済・ビジネス研究科の入学者の選抜は、筆記試験・口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

● 経済・ビジネス研究科

		時間	
専攻	専攻分野	10:00～11:00	12:00～
経済学専攻		小論文	口述試験
現代ビジネス専攻	ビジネス・会計 マネジメント		

○国際文化研究科、情報科学研究科、工学研究科、芸術研究科の入学者の選抜は、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

● 国際文化研究科

臨床心理学研究分野については一般入試と同様に行う。

		時間	
専攻	専攻分野	13:30～	
国際文化専攻	国際文化研究	口述試験	

● 情報科学研究科

		時間	
研究科	専攻	10:00～	
情報科学研究科	情報科学専攻	口述試験	

● 工学研究科

		時間	
研究科	専攻	14:00～	
工学研究科	産業技術デザイン専攻	口述試験	

● 芸術研究科

		時間	
研究科	専攻	9:00～9:15	9:30～
芸術研究科	造形表現専攻	作品提出 (留意事項は、6ページ的一般入試の《作品提出(論文)についての留意事項》に準ずる) ※論文を提出する場合は、出願時に提出。	
			口述試験

外国人留学生入試

○入学者の選抜は、筆記試験・口述試験等の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

● 国際文化研究科、情報科学研究科

一般入試と同様に行う。

● 経済・ビジネス研究科

		時間	10:00～11:00	12:00～
専攻	専攻分野			
経済学専攻			小論文	口述試験
現代ビジネス専攻	ビジネス・会計 マネジメント			

● 工学研究科

専攻	時間	13:00～
産業技術デザイン専攻		①口述試験 ②学科試験（筆記または口頭）

● 芸術研究科

一般入試と同様に行う。

（6ページの一般入試の試験科目・試験時間及び《作品提出（論文）についての留意事項》を参照のこと）

（注）日本国内の大学を卒業（卒業見込みを含む）した外国人留学生は、一般入試を受験すること。なお、出願書類については、外国人留学生入試の出願に必要な書類を提出すること。

秋期 推薦入試

○情報科学研究科の入学者の選抜は、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

● 情報科学研究科

研究科	専攻	時間	10:00～
情報科学研究科	情報科学専攻		口述試験

5. 合格発表

- 合格発表当日、午前10時に学内（公用掲示板）及び本学ホームページで公示するとともに、受験者に対しては、同日に通知文書を発送する。
- 可否に関する問い合わせには、一切応じない。

6. 入学手続

合格者は、指定された期日までに諸手続を終えなければならない。期日内に手続を完了しないときは、入学を辞退したものと取り扱う。

● 秋期合格者の手続について

(1) 入学金及び修学費等納付金

入学金及び修学費等納付金については、令和3年1月13日（水）15時までに、銀行窓口で納付すること。

(2) 入学手続書類

入学手続書類については、令和3年1月13日（水）16時までに、本学教務部大学院事務室に提出すること。

● 春期合格者の手続について

(1) 入学金及び修学費等納付金

入学金及び修学費等納付金については、令和3年3月16日（火）15時までに、銀行窓口で納付すること。

(2) 入学手続書類

入学手続書類については、令和3年3月16日（火）16時までに、本学教務部大学院事務室に提出すること。

中国の大学卒業者の入学手続について

中国の大学卒業者は、以下のとおり中国教育部学位与研究生教育发展中心(以下“CDGDC”と略)において、大学卒業に関する認証報告書手続を行ってください。

1. CDGDCのホームページ「<http://www.cdgdc.edu.cn/>」に登録。
2. 学位認証に関する内容を確認。
3. インターネット用申込書に各項目を入力し、確認の上、オンラインで送信して申請。
4. CDGDCのホームページで認証申請手続き後、電子メールで届いた「認証報告書」を出力。
5. 出力した「認証報告書」を入学手続き書類と共に大学院事務室へ提出。